

高知工科大学次期学長候補者の決定について

本学現学長、磯部雅彦が2023年3月末に任期満了を迎えるに伴い、学長選考会議（議長：青木章泰）において次期学長候補者の選考を行った結果、現副学長である蝶野成臣が、次期学長候補者として選考されましたのでお知らせします。

なお、公表にあたっては、学長選考会議による理事長並びに経営審議会及び教育研究審議会への報告を経て、理事長による高知県知事への報告が完了したことから、本日の発表となりました。

【次期学長候補者】

氏名：蝶野 成臣（ちょうの しげおみ）
生年月日：1956年1月15日生（66歳）
専門分野：流体工学
出身地：愛媛県新居浜市

学 歴：

1978年3月 大阪大学工学部産業機械工学科卒業
1980年3月 大阪大学大学院工学研究科
産業機械工学専攻修士課程修了
1984年11月 工学博士（大阪大学）

職 歴：

1982年4月 福井大学 工学部 助手
1988年4月 福井大学 工学部 講師
1989年12月 米国カリフォルニア大学バークレー校 客員研究員（10か月）
1990年1月 福井大学工学部 助教授
1996年3月 米国カリフォルニア大学バークレー校 客員研究員（6か月）
1997年4月 高知工科大学 工学部 知能機械システム工学科 教授
2005年4月 高知工科大学 工学部 知能機械システム工学科 学科長
2009年4月 高知工科大学 システム工学群（改組） 学群長
2013年4月 高知工科大学 副学長・学生本部長
2015年4月 高知工科大学 副学長・学生本部長・教育本部長
2017年4月 高知工科大学 システム工学群 学群長
2019年4月 高知工科大学 学長特別補佐（教育担当）
2021年12月 高知工科大学 副学長（現在に至る）

（業績等）
別紙参照

【蝶野成臣コメント】

システムの思考を核とした工学を追究すべく創設された高知工科大学は、開学以来、その考え方を進化させ続け、経済・マネジメント分野にも展開してきました。今後は、データ&イノベーション学群の新設を機に、「システムの思考×データ」に基づいて専門分野の知を創成し、さらには、それらを基軸としたイノベーションをもたらせる実学も探求します。新学群と既存の4学群とが密に連携し、質の高い研究を通じた、人材の育成、社会への貢献を進めていきます。

高知発の世界一流の大学を目指し、歴代学長のもとで創り発展させてきた理念、柔軟性、機動性、効果性を大切にしながら、知を創出し、発信し、普及する活動を通じ、多くの人が集まる大学にしたいと思っています。



【本リリースに関するお問い合わせ先】

高知工科大学 入試・広報課 岡花・石川
TEL.0887-53-1080

E-mail : kouhou@ml.kochi-tech.ac.jp

次期学長の任期及び任命：

2023年 4 月 1 日～2027年 3 月31日（4 年間）
学長の任命は、学長選考会議の選考に基づき理事長が行う。（地方独立行政法人法第71条第 5 項及び高知県公立大学法人定款第11条第 3 項 参考）

選考理由：

1997年の開学時に工学部知能機械システム工学科の教授として着任。学科長及び学群長を 8 年間歴任し、2013年には副学長。以後、学長特別補佐（教育担当）等要職を経て、2021年12月には再び副学長。この間、各種の教育改革及び教員評価システムの構築を先導し、本学独自の教育プログラムや人事制度を推進した。その取組姿勢は公正であり高潔、また、日本機械学会等フェローの称号を授与されるなど、十分な教育・研究業績を活かし多方面で活躍している。
今後、本学の強みや特色を活かし、理念などを継承し、高知工科大学の更なる進化を目指すうえで、学長として最も適任であると委員全員の意見が一致し、学長候補者として選考することとなった。【学長選考会議】

選考経過：

学長選考会議 第 1 回会議（2022年 6 月 6 日）にて、次期学長の任期（4 年間）及び学長選考方法（委員の推薦に基づく選考）を決定し、第 2 回会議（2022年 7 月27日）にて蝶野成臣現副学長が次期学長候補者として委員より推薦された。
第 3 回会議（2022年 8 月24日）にて、蝶野成臣副学長によるプレゼンテーションと質疑応答を実施した結果、委員全員一致で蝶野成臣現副学長を次期学長候補者として決定した。

学長選考会議について

- 学長選考会議とは
地方独立行政法人法第71条第3項及び高知県公立大学法人定款第11条第2項に基づき設置される選考機関
- 学長選考会議 委員
経営審議会を構成する者の中から選出する3名と、教育研究審議会を構成する者の中から選出する3名の計6名により構成

	氏名	備考
経営審議会委員	青木 章泰	高知商工会議所 最高顧問
	佐竹 慶生	株式会社高知放送 代表取締役会長
	十河 清	高知県立大学 後援会長
教育研究審議会委員	八田 章光	高知工科大学学長特別補佐／教授
	岩田 誠	高知工科大学研究本部長／教授
	小廣 和哉	高知工科大学環境理工学群長／教授

【教育に関する業績】

- (1) 主な担当講義
 - ・力学（1年生） ・流れの科学（2年生） ・流体力学（2年生） ・流体力学特論（大学院）
- (2) The teacher of the year
2002年度～2008年度、2011年度、2014年度 計9回受賞
- (3) 指導学生数
学士121名（208名）、修士72名（121名）、博士6名（11名） （ ）内は蝶野・辻研究室
- (4) 指導学生の優秀発表（辻知宏氏と共同指導）
16件
- (5) 主な取り組み
 - 1. 教員評価システムの構築、見直し等を主担当し、教員が評価ポイントを過度に意識せずに教育研究に従事できるよう、年俸の下限値の設定と上級教授の新設
 - 2. 学生支援関係
学生表彰について、賞の見直しと、大学院生を対象とした賞を新設
授業料免除について、免除枠を拡大すると同時に、困窮度の高い学生のために全額免除制度を新設
修士課程進学者の増員を目的として、進学予定者に対する授業料免除の予約制度を新設
 - 3. 教務関係
自学自習の時間を確保して自己学習能力を伸ばすために、講義開講時限を原則3限目までに集約
授業難易度の適正化と成績評価の厳格化を実行
学士修士5年一貫教育の制度化

【研究業績】

- (1) 科学研究費補助金
 - （研究代表者）特定領域研究1件、基盤研究(B)5件、基盤研究(C)3件、挑戦的萌芽研究2件、奨励研究(A)2件
 - （研究分担者）基盤研究(B)2件、基盤研究(C)4件
- (2) 学術論文等
査読付き学術論文73編、解説15編、書籍3冊（分担執筆）
- (3) 特許登録
液晶の力学的応用に関する特許30件（含米国3件）
- (4) 招待講演
16件
- (5) 国際会議における発表
44件
- (6) 受賞
 - 1987年6月 日本繊維機械学会賞（技術賞）
 - 1987年6月 日本繊維機械学会学術奨励金
 - 1991年6月 日本繊維機械学会賞（記念賞）
 - 2007年4月 日本機械学会賞（論文）
 - 2008年4月 日本機械学会フェロー
 - 2013年3月 日本機械学会中国四国支部技術創造賞
 - 2019年11月 日本機械学会流体工学部門賞
 - 2020年12月 日本流体力学会フェロー

【社会貢献・地域活動】

(1) 学会活動

2003年4月～2021年3月 日本機械学会 年次大会で「複雑流体」のオーガナイザー（18年間）
 2013年8月～2016年7月 日本混相流学会 理事
 2016年4月～2018年3月 日本流体力学会 中四国・九州支部 支部長
 2018年4月～2019年3月 日本機械学会 中国四国支部 支部長
 2019年4月～2021年3月 日本流体力学会 理事
 他45件

(2) 高知県関係

2013年度～現在	高知工業高等専門学校 参与（外部評価委員）
2013年度～2016年度	高知県産業振興センター 評議員
2015年度～2017年度	高知県産業振興センター地域研究成果事業化支援事業 審査員
2016年度～2017年度	高知市高知広域連携中枢都市圏ビジョン策定懇談会 委員
2018年度～現在	高知市れんげいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会 委員
2014年度～2015年度	高知県紙産業の在り方検討会委員 委員
2016年度～2019年度	高知県紙産業フォローアップ委員会 委員
2021年度末～現在	高知県産業振興センター 評議員